北陸病害虫研究会報　第32号　昭和59年

富山県における水田地帯とその付近のヨコバイ類

常　楽　武　男

Takeo JOHRAKU : A list of the leafhoppers and the froghoppers near paddy field area in Toyama Prefecture (Homoptera : Cicadelloidea, Cercopoidea)

水田地帯やその付近に生息するヨコバイ類は種類が多く，また互いに酷似している。害虫類の予察灯調査やすくい取り調査などでは，まずこれらの種類分けから開始せねばならない。

このようなことから，害虫類の発生調査のかたわら県内に生息するヨコバイ類の採集に努め，それらを同定分類して予察調査などの正確性向上のための基礎標本として整備してきたが，その種類数もかなり多くなったのでここに目録として取りまとめて参考に供する。

本報に記録した種は，同翅目，頸吻群のヨコバイ上科とアワフキムシ上科に所属する，いわゆる「ヨコバイ類」である。

本報を取りまとめるに際して，種の同定や学名の変更などについて，農業環境技術研究所の長谷川仁氏に懇切な御指導を賜った。記してお礼を申し上げる。

材料および方法

記録対象種：本報での記録は，富山県農業試験場所蔵の富山県内産現物標本の調査結果によった。現物標本を調査できないものの記録は，原則として避けた。

発生地・発生期：調査標本のデータと富山県昆虫研究会[4]のデータを中心にして記したが，害虫類や発生の広範な普通種については，予察灯調査データや一般観察も含めて説明した。

なお，調査標本の個体数，産地，採集年月日などの具体的データは，富山県昆虫研究会[4]，常楽[1,2]などに記録されているので参照されたい。また，富山農試で標本を直接調査・観察することもできる（標本は常時整備しておくよう努めている）。

分類・配列：目・科・種などの名称や配列は，安松ら[6]に準拠し，長谷川仁氏の御教示により多少の訂正を加えた。

HOMOPTERA　同翅目

富山県農業試験場　Toyama Agricultural Experiment Station, Toyama, Toyama 930-11

Auchenorrhyncha　頸吻群

Cercopoidea　アワフキムシ上科

Machaerotidae　トゲアワフキ科

1　*Machaerota takeuchii* Kato　タケウチトゲアワフキ

〔発生地〕黒部峡谷鐘釣　〔発生期〕6月

1個体のみの採集例である。

Cercopidae　コガシラアワフキ科

1　*Paracercopis assimilis* (Uhler)　コガシラアワフキ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕6～9月

Aphrophoridae　アワフキムシ科

1　*Aphrophora stictica* Matsumura　ホシアワフキ

〔発生地〕県内全域の山手　〔発生期〕6～10月

2　*Aphrophora flavomaculata* Matsumura　モンキアワフキ

〔発生地〕県内全域の山地に分布　〔発生期〕6～10月

灯火にも飛来する。

3　*Aphrophora intermedia* Uhler　シロオビアワフキ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕6～10月

4　*Peucoptyelus nigroscutellatus* Matsumura　ミヤマアワフキ

〔発生地〕県東・中部地域の山地　〔発生期〕6～10月

5　*Peucoptyelus medius* Matsumura　コミヤマアワフキ

〔発生地〕県内全域の山手　〔発生期〕7～10月

6　*Philaenus spumarius* (Linnaeus)　ホソアワフキ

〔発生地〕立山弥陀ケ原に多い。ほかに利賀村で1個体採集例がある。〔発生期〕7～10月

7　*Sinophora submacula* Metcalf et Horton　クロフアワフキ

〔発生地〕県内全域の山地　〔発生期〕7～10月
灯火にも飛来する。

Cicadelloidea ヨコバイ上科

Ledridae ミミズク科

1 *Ledra auditura* Walker ミミズク
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～9月
灯火にも飛来する。

Tettigellidae オオヨコバイ科

1 *Cicadella viridis* (Linnaeus) オオヨコバイ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕6～11月
水田付近の草間に多い普通種で，水田内にも生息するが，稲に被害を与えるほどではない（若松・常楽[5]）。灯火にもよく飛来する（第1表）。

Evacanthidae カンムリヨコバイ科

1 *Onukia onukii* Matsumura オヌキヨコバイ
〔発生地〕黒部峡谷阿曽原，棚平　〔発生期〕8月
2個体のみの採集例である。灯火にも飛来する。

2 *Oniella leucocephala* Matsumura シロズオオヨコバイ
〔発生地〕県内全域の山地　〔発生期〕7～8月
灯火にも飛来する。

3 *Evancanthus interruptus* (Linnaeus) キスジカンムリヨコバイ
〔発生地〕県内全域の山手　〔発生期〕6～11月

Errnomenellidae フトヨコバイ科

1 *Epiacanthus stramineus* (Motschlsky) フタテンオオヨコバイ
〔発生地〕県内全域の山手　〔発生期〕5～8月

Penthimiidae クロヒラタヨコバイ科

1 *Penthimia nitida* (Lethierry) クロヒラタヨコバイ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～7月

Jassidae アオズキンヨコバイ科

1 *Batracomorphus mundus* (Uhler) アオズキンヨコバイ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕7～10月
灯火にも飛来する。

2 *Batracomorphus stigmatica* (Matsumura) ホシアオズキンヨコバイ

第1表　オオヨコバイ半旬別誘殺表

月・半旬	富山市太郎丸（1960～71）		富山市吉岡（1972～83）	
	1961～69 平均	最多年（1961年）	1974～83 平均	最多年（1973年）
5. 6	0	0	1	0
6. 1	21	0	1	2
2	13	0	16	1
3	26	0	8	4
4	45	0	11	3
5	37	0	2	0
6	9	0	1	0
7. 1	1	2	1	0
2	1	1	0	0
3	1	0	0	1
4	6	43	2	7
5	328	382	17	289
6	2,163	4,980	67	1,058
8. 1	1,189	860	70	145
2	949	343	31	107
3	296	977	20	19
4	332	645	25	8
5	234	495	6	28
6	148	479	23	47
9. 1	438	3,515	4	6
2	711	5,090	2	6
3	840	3,600	19	1
4	511	1,473	63	92
5	725	4,480	68	344
6	254	1,440	115	123
10. 1	352	477	115	462
2	20	21	14	4
3	12	2	3	0
4	11	74	1	0
5	1	2	0	0
6	0	2	0	0
11. 1	0	0	0	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	2	0	0
5	0	0	0	0
6	0	2	0	0

富山县試予察灯。60W白熱電球使用，乾式予察灯。数値は半旬合計誘殺数。以下各表とも同じ。

〔発生地〕黒部峡谷阿曽原，氷見市片倉　〔発生期〕7～8月
灯火に飛来する。

3 *Straganiassus matsumurai* (Metcalf) セグロアオズキンヨコバイ
〔発生地〕県東部地域の山地　〔発生期〕8～10月
灯火にも飛来する。

Macropsidae ヒロズヨコバイ科

1 *Oncopsis alni* (Schrank) ハンノヒロズヨコバイ
〔発生地〕県東部地域の山地　〔発生期〕8～10月

2 *Macropsis virescens* (Fabricius) ヤナギハトムネヨコバイ

〔発生地〕富山市吉岡 〔発生期〕6月

1個体のみの採集例である。

Agalliidae シダヨコバイ科

1 *Japanagallia pteridis* (Matsumura) シダヨコバイ

〔発生地〕県西部地域 〔発生期〕4～5月

2 *Onukigallia onukii* (Matsumura) オヌキシダヨコバイ

〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕8月

Drabescidae ブチミャクヨコバイ科

1 *Drabescus nigrifemoratus* (Matsumura) ブチミャクヨコバイ

〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕7～11月

灯火にも飛来する。

Idioceridae ズキンヨコバイ科

1 *Idiocerus nigripectus* Matsumura ムナグロズキンヨコバイ

〔発生地〕黒部峡谷阿曽原 〔発生期〕8月

1個体のみの採集例である。灯火に飛来。

Xestocephalidae ホシヨコバイ科

1 *Xestocephalus japonicus* Ishihara ホシヨコバイ

〔発生地〕県中・西部地域の平坦部 〔発生期〕7～8月

灯火にも飛来する。

Cicadellidae ヒメヨコバイ科

1 *Aguriahana quercus* (Matsumura) カシヒメヨコバイ

〔発生地〕富山市太郎丸 〔発生期〕10月

1個体のみの採集例である。

2 *Eupteryx artemisiae* (Kirschbaum) ヨモギヒメヨコバイ

〔発生地〕氷見市片倉 〔発生期〕7月

1個体のみの採集例である。

3 *Alnetordia sapporensis* (Matsumura) キイロヒメヨコバイ

〔発生地〕立山弥陀ケ原 〔発生期〕8～10月

4 *Linnavuoriana sexmaculata* Hardy ムツテンヒメヨコバイ

〔発生地〕富山市太郎丸 〔発生期〕11月

1個体のみの採集例である。

5 *Empoascanara limbata* (Matsumura) ヨツモンヒメヨコバイ

〔発生地〕県内全域の平坦部 〔発生期〕7～12月

水田内にも生息する。

6 *Arboridia apicalis* (Nawa) フタテンヒメヨコバイ

〔発生地〕宇奈月町，富山市 〔発生期〕7月

ブドウに寄生。

7 *Eurhadina pulchella* (Fallén) シロヒメヨコバイ

〔発生地〕富山市太郎丸 〔発生期〕9月

8 *Naratettix zonatus* (Matsumura) オビヒメヨコバイ

〔発生地〕富山市城山，小矢部市石動 〔発生期〕6～10月

灯火にも飛来する。

9 *Alebroides rubicunda* Ishihara アカヒメヨコバイ

〔発生地〕富山市太郎丸，氷見市片倉 〔発生期〕7月

灯火にも飛来する。

10 *Apheliona ferruginea* (Matsumura) カンキツヒメヨコバイ

〔発生地〕富山市太郎丸 〔発生期〕8～9月

灯火にも飛来する。

11 *Empoasca hiromichii* (Matsumura)? ナスノミドリヒメヨコバイ

長谷川仁氏の同定による。

〔発生地〕新湊市本江 〔発生期〕7月

ナスの葉に寄生，加害。

12 *Empoasca* sp. キクノミドリヒメヨコバイ（岡田）

長谷川仁氏の同定による。

〔発生地〕黒部峡谷阿曽原 〔発生期〕8月

灯火に飛来。1個体のみの採集例である。

13 *Togaritettix serratus* (Matsumura) セスジヒメヨコバイ

〔発生地〕富山市太郎丸 〔発生期〕9月

灯火に飛来。

14 *Limassolla multipunctata* (*Matsumura*) ホシヒメヨコバイ

〔発生地〕宇奈月町栃屋，氷見市片倉 〔発生期〕7月

灯火にも飛来。

Aphrodidae ヒラタヨコバイ科

1 *Stroggylocephalus agrestis* (Fallén) イネヒラタヨコバイ

〔発生地〕富山市太郎丸，小矢部市石動 〔発生期〕7～8月
灯火にも飛来。

Hecalidae フクロクヨコバイ科

1 *Hecalus prasinus* (Matsumura) サジヨコバイ
〔発生地〕小矢部市石動 〔発生期〕6月
灯火に飛来。1個体のみの採集例である。

Scaphitopidae トガリヨコバイ科

1 *Japananus hyalinus* (Osborn) ミスジトガリヨコバイ
〔発生地〕朝日町小川温泉，富山市太郎丸 〔発生期〕9～10月
灯火にも飛来する。

Deltocephalidae ヨコバイ科

1 *Aconura producta* Matsumura トガリヨコバイ
〔発生地〕氷見・高岡地域 〔発生期〕7～12月

2 *Orientus ishidai* (Matsumura) リンゴマダラヨコバイ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕7～9月
灯火にも飛来する。

3 *Paralimnus tamagawanus* (Matsumura) タマガワヨシヨコバイ
〔発生地〕県内東・中部 〔発生期〕8～9月
灯火にも飛来する。

4 *Nephotettix cincticeps* (Uhler) ツマグロヨコバイ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5～11月，盛期は8～9月
稲の大害虫で時に大発生する（常楽）[3]。イネ科雑草中にも生息する（若松・常楽）[5]。灯火にもよく飛来する。

5 *Limotettix ainoicus* (Matsumura) アイヌイチモンジヨコバイ（仮称）
長谷川仁氏の同定による。
〔発生地〕小矢部市石動 〔発生期〕6月
灯火に飛来。1個体のみの採集例である。

6 *Labururs impictifrons* (Boheman) ミドリヒロヨコバイ
〔発生地〕県内全般 〔発生期〕7～10月

7 *Scaphoideus albovittatus* Matsumura シロセスジヨコバイ
〔発生地〕富山市太郎丸 〔発生期〕9月
灯火にも飛来する。

第2表 イネマダラヨコバイ半旬別誘殺表

月・半旬	富山市太郎丸 (1960～71)		富山市吉岡 (1972～83)	
	1961～70 平均	多発年 (1961年)	1974～83 平均	最多年 (1983年)
5. 5	0	0	0	0
6	5	40	1	8
6. 1	25	66	3	18
2	17	85	6	28
3	22	28	16	15
4	38	30	53	1
5	38	55	17	9
6	21	1	7	35
7. 1	12	23	4	20
2	15	52	4	9
3	37	286	4	16
4	173	1,180	18	61
5	375	1,839	138	850
6	753	2,400	483	4,362
8. 1	272	230	221	1,831
2	217	164	44	343
3	215	1,310	41	191
4	134	245	63	13
5	579	4,240	20	52
6	434	3,060	519	4,719
9. 1	1,120	9,635	203	1,308
2	572	3,865	182	1,397
3	283	1,070	148	947
4	254	1,803	134	1,189
5	344	2,240	95	873
6	156	525	84	625
10. 1	228	813	162	983
2	88	201	103	911
3	89	91	51	277
4	126	994	29	289
5	14	77	0	0
6	77	663	0	0
11. 1	2	8	0	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0
5	0	0	0	0
6	0	1	0	0

8 *Scapoideus festivus* Matsumura シラホシスカシヨコバイ
〔発生地〕県内全般 〔発生期〕6～8月
灯火にも飛来する。

9 *Yanocephalus yanoi* (Matsumura) ヤノトガリヨコバイ
〔発生地〕氷見市加納 〔発生期〕不明。越冬期の12月の採集例のみである。
この時期に草間のすくい取りで成虫，幼虫ともに採集している。

10 *Alobaldia tobae* (*Matsumura*) トバヨコバイ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕6～11月。越冬期の3月にも採集されている。

第3表　イナズマヨコバイ半旬別誘殺表

月・半旬	富山市太郎丸（1960～71）		富山市吉岡（1972～83）	
	1961～70 平均	最多年（1961年）	1974～83 平均	最多年（1976年）
6. 1	1	1	0	0
2	0	1	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0
5	0	0	0	0
6	0	0	0	0
7. 1	0	0	0	0
2	0	0	0	0
3	0	1	0	0
4	8	81	0	0
5	7	32	0	0
6	16	75	0	0
8. 1	6	36	0	0
2	3	4	0	0
3	12	80	0	0
4	159	1,320	0	0
5	269	2,000	0	0
6	618	4,760	0	0
9. 1	806	6,070	0	0
2	609	3,945	0	0
3	646	1,370	0	2
4	519	2,045	0	0
5	763	6,080	0	0
6	785	4,365	0	0
10. 1	540	3,259	0	0
2	107	678	0	0
3	104	841	0	0
4	274	2,671	0	0
5	17	142	0	0
6	15	134	0	0
11. 1	0	0	0	0
2	1	1	0	0
3	0	1	0	0
4	1	2	0	0
5	0	0	0	0
6	1	7	0	0

稲のすくい取りでも採集される。灯火にも飛来する。斑紋の個体変異の多い種である。

11 *Metalimnus marmoratus* (Flor) アカスジイナズマヨコバイ（仮称）

長谷川仁氏の同定による。

〔発生地〕富山市太郎丸，氷見市宮田　〔発生期〕7～8月

灯火にも飛来する。

12 *Recilia oryzae* (*Matsumura*)　イネマダラヨコバイ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～11月

稲やイネ科雑草のすくい取りでよく採集される。灯火にもよく飛来する（第2表）。

13 *Recilia dorsalis* (Motschulsky) イナズマヨコバイ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕6～11月

稲のすくい取りで採集される。灯火にもよく飛来する。しかし，1961年をピークに，その後発生数は漸減し，1969年以後は極端に少発生となっている（第3表）。

14 *Futasujinus candidus* (Matsumura)　フタスジトガリヨコバイ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕7～11月

15 *Futasujinus towadensis* (Matsumura)？　トガリヨコバイ一種

長谷川仁氏の同定による。

〔発生地〕立山弥陀ケ原　〔発生期〕10月

イネ科雑草のすくい取りで採集される。

16 *Hishimonus sellatus* (Uhler)　ヒシモンヨコバイ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕6～10月

灯火にも飛来する（第4表）。

17 *Balclutha punctata* (Thunberg)　カスリヨコバイ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕4月，11月

18 *Balclutha viridis* (Matsumura)　ウスバミドリヨコバイ

〔発生地〕黒部峡谷阿曽原，櫟平　〔発生期〕8月

灯火にも飛来。

19 *Macrosteles orientalis Vilbaste*　ヒメフタテンヨコバイ

〔発生地〕県下全域　〔発生期〕5～11月

稲およびイネ科雑草間に多い（若松・常楽）[5]。田植え直後の稲に被害を与えることがある。灯火にもよく飛来する（第4表）。

なお，本種は従来 *M. fasciifrons* Stål フタテンヨコバイとされていたものである。

20 *Macrosteles quadrimaculatus* (Matsumura)　ヨツテンヨコバイ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～12月

稲やイネ科雑草間に多い。イタリアンライグラスで多発した事例もある。灯火にもよく飛来する（第4表）。

21 *Macrosteles sexnotatus* (Fallén)　ムツテンヨコバイ

〔発生地〕県東・中部　〔発生期〕8～10月

イネ科雑草間に生息する。灯火にも飛来する。

22 *Macrosteles cyane* (Boheman)　ヒシヨコバイ

〔発生地〕県中・西部　〔発生期〕7～8月

23 *Phlogotettix cyclops* (Mulsant et Rey)　ヒトツメヨコバイ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕7～9月

灯火にも飛来する（第4表）。

第4表　そのほかのヨコバイ類半旬別誘殺表

月・半旬	富山市太郎丸 (1960～1962年)						
	ヒシモンヨコバイ		ヒメフタテンヨコバイ		ヨツテンヨコバイ		ヒトツメヨコバイ
	3か年平均	最多年(1961)	3か年平均	多発年 (1961)	3か年平均	最多年 (1961)	3か年平均
5. 1	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	188	375	1	2	0
4	0	0	104	208	0	0	0
5	0	0	88	15	86	11	0
6	0	0	435	612	209	160	0
6. 1	0	0	139	113	66	120	0
2	0	0	79	155	40	79	0
3	2	3	28	44	15	24	0
4	1	1	60	70	28	40	0
5	1	1	101	195	33	66	0
6	0	0	26	24	4	3	0
7. 1	0	0	394	440	28	49	0
2	1	0	2,141	2,200	140	213	3
3	0	0	3,955	5,353	429	791	2
4	0	0	10,514	17,690	915	2,251	2
5	0	0	15,992	9,456	674	634	0
6	0	0	20,691	16,810	1,345	3,040	0
8. 1	3	8	12,751	5,600	610	1,060	0
2	2	0	14,793	2,857	224	155	0
3	1	0	14,652	26,150	993	2,670	0
4	0	0	10,127	10,310	754	1,060	0
5	1	1	11,283	13,860	1,074	1,890	0
6	0	0	6,325	10,110	500	865	0
9. 1	0	0	6,449	12,510	547	1,030	0
2	0	0	2,498	3,050	267	310	0
3	0	0	1,144	1,155	473	545	0
4	0	0	1,946	1,018	822	36	11
5	0	1	887	955	351	243	1
6	0	0	339	925	117	335	0
10. 1	1	0	342	580	79	141	0
2	0	0	97	83	9	17	0
3	0	1	33	19	17	43	0
4	0	0	137	298	34	91	0
5	0	0	10	26	0	0	0
6	0	0	9	26	3	8	0
11. 1	0	0	0	1	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	1	2	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	1	2	0	0	0
12. 1	0	0	0	0	1	1	0

摘　　要

1　富山県農業試験場所蔵の標本などに基づいて，いわゆるヨコバイ類の種類と発生状況を記録した。それらはすべて富山県内の主として水田地帯とその付近で発生が確認されたものである。

2　記録した種類はアワフキムシ上科に属するもの3科9種，ヨコバイ上科に属するもの16科57種の，計66種である。

3　これらの中には農作物害虫類も多く含まれる。

引　用　文　献

1) 常楽武男 (1983) 富山県の昆虫補遺Ⅱ. AMICA 通信 3：2～8. 2) 常楽武男 (1984) 同上Ⅲ. AMICA 28：33～41. 3) 常楽武男(1984) ツマグロヨコバイ個体数変動の地域差，北陸と九州の比較. 農および園59：62～66. 4) 富山県昆虫研究会 (1979) 富山県の昆虫. 109～116, 富山県，富山，545pp. 5) 若松俊弘・常楽武男 (1972) 休耕田における稲害虫の発生消長. 北陸病虫研報20：38～41. 6) 安松京三ら(1965) 原色昆虫大図鑑(第3巻). *5,39～41*,113～128, pl.57～64, 北隆館，東京，*76*pp.＋358pp.＋156pl.

(1984年8月30日受領)